

令和8年度山梨県オープンファクトリー設備整備費補助金の申請方法について

山梨県オープンファクトリー設備整備費補助金の申請手順について解説します。

1 エントリー

- (1) エントリーシート（別紙1及び別紙2）を記入してください。
- (2) 産業振興課までエントリーシートを提出してください（メールまたはFAX）。
メール送信先：watanabe-pxgu@pref.yamanashi.lg.jp
FAX送信先：055-223-1547（FAXの場合、必ず着信確認を行ってください。）
問い合わせ TEL：055-223-1543
※エントリーシートの提出期限は【令和8年6月12日（金）17時必着】とします。

2 産業振興課による事前確認審査

- (1) エントリーシートを元に補助金の要件を満たしているか等、事前確認を行います。
- (2) エントリー時の各者の申請額の総額が、予算額を上回る場合には別紙3のとおり補助対象事業者の選定を行います。
- (3) 選定結果については、エントリーした者に個別にお知らせします。

3 申請書の作成

- (1) 2の手続きの後、採用者は、山梨県オープンファクトリー設備整備費補助金交付要綱及び同要領に従い申請書を作成してください。
- (2) 申請にあたり必要な添付書類を準備します。
準備が必要な添付書類：交付要綱様式第1号の5に記載の添付書類となります。

4 申請書（交付要綱様式第1号）の提出

- (1) 別に指定する日までに、申請書及び添付書類を産業振興課あて提出してください。

5 審査

- (1) 産業振興課で、申請書内容に基づき内容及び対象経費等について審査を行います。

6 結果通知（交付決定通知）

審査の結果、適当と認められたものについて、山梨県知事から申請者あてに補助金交付決定通知を行います。

7 着工

交付決定通知後、工房改修に着工してください。交付決定通知日前の改修等については、補助対象とならないのでご注意ください。

山梨県オープンファクトリー設備整備費補助金エントリーシート

下記の内容で、山梨県オープンファクトリー設備整備費補助金にエントリーします。

項目	記入欄
申請者	
所在地	
申請者の事業内容	
連絡先 (TEL)	
連絡先 (FAX)	
連絡先 (MAIL)	
補助事業に要する経費 (税抜)	
補助金申請予定額 (税抜)	
補助事業実施場所	
ジュエリーマスター本人 (申請者) または雇用しているジュエリーマスターの氏名及び部門	ジュエリーマスターの氏名 : 部門 : ※ジュエリーマスター本人による申請またはジュエリーマスターを雇用している場合には補助率が 1/2 となります。

注) 山梨県オープンファクトリー設備整備費補助金交付要綱様式のうち、次の添付様式及び別紙 2 (エントリーシート 2) を併せて提出すること。

- (1) 添付様式第 2 号 (事業計画書)
- (2) 添付様式第 3 号 (収支予算書) または工務店等の概算見積書
- (3) 添付様式第 4 号 (計画書)

別紙2-1（エントリーシート2-1）

別添の記載例を参考に、確認事項の有無及びその内容を記入してください。

No.	確認項目	有・無	内容
(1)	ジュエリーマスターの資格の有無		—
(2)	ジュエリーマスター展への出品の有無		
(3)	ジュエリーマスターとしての情報発信実績の有無 (ジュエリーマスターの名称を使用して自身または法人等HP、SNS等に掲載しているものに限る(ただし県作成のHPは除く。))		
(4)	ジュエリーマスターとしての各種コンクールへの出品実績の有無		
(5)	ジュエリーマスターとしての後進育成の実績の有無		
(6)	ジュエリーツーリズム ^{注1} 参加実績(体験等)の有無		
(7)	ジュエリーツーリズム ^{注1} 参加実績(運営スタッフ等)の有無		
(8)	山梨ジュエリーフェア職人ブースへの参加実績の有無		
(9)	山梨ジュエリーフェア山梨PRブースへの出展実績の有無		
(10)	山梨ジュエリーミュージアム実演工房での実演の有無(ただし、令和6年度以降の実績に限る。)		
(11)	山梨県の宝飾に関する情報発信の実績の有無 (SNS、HP等による自主的な発信実績。ただし、令和6年度以降の実績に限る。)		
(12)	山梨県の宝飾に関する情報発信の実績の有無 (プレスリリースによる自主的な発信実績。ただし、令和6年度以降の実績に限る。)		
(13)	山梨県の宝飾に関する情報発信の実績の有無 (新聞、TV等メディア等の出演、掲載実績。ただし、令和6年度以降の実績に限る。)		

別紙2-2（エントリーシート2-2）

別添の記載例を参考に、確認事項の有無及びその内容を記入してください。

No.	確認項目	有・無	内容
(14)	宝飾に関するコンクール等での受賞実績の有無（日本国内のもの。ただし、令和5年度以降の実績に限る。）		コンクール等名称： 受賞実績名：
(15)	宝飾に関するコンクール等での受賞実績の有無（日本国外のもの。）		コンクール等名称： 受賞実績名：
(16)	山梨県庁が実施する宝飾産業の振興に関する事業への協力実績の有無（講師など技術指導分野に限る）		
(17)	山梨県庁が実施する宝飾産業の振興に関する事業への協力実績の有無（技術指導分野を除く、委員等政策分野、産地または技術のPR、その他）		
(18)	インバウンド対応や海外展開（インバウンドへの対応や海外に向けての発信実績等）の有無		
(19)	宝飾に関する情報発信を行っているSNSのフォロワー数（所有するSNSツールの内、最も影響力のあるものを1つ記載すること。個人または法人いずれのアカウントでも可。ただし、令和6年度以降更新実績があるものに限る。）	—	ツール名： フォロワー数： アカウント名：
(20)	オープンファクトリーの企画内容	—	要綱添付様第4号に記載 ※インバウンド対応や海外展開に資する要素を含む内容とすること。

注1）ジュエリーツーリズムとは、協同組合山梨県ジュエリー協会または甲府商工会議所が実施する、オープンファクトリーやジュエリー産地ツアー（業界として産地振興のために実施するもの）のことをいう。

注2）内容欄が不足する場合には、任意の様式に記載し提出すること。

【記載例】 別紙2-1 (エントリーシート2-1)

No.	確認項目	有・無	内容
(1)	ジュエリーマスターの資格の有無	有	—
(2)	ジュエリーマスター展への出品の有無	有	令和●年度ジュエリーマスター展へ出展
(3)	ジュエリーマスターとしての情報発信実績の有無 (ジュエリーマスターの名称を使用して自身または法人等HP、SNS等に掲載しているものに限る(ただし県作成のHPは除く。))	有	HP名: ●● インスタ: アカウント名●●
(4)	ジュエリーマスターとしての各種コンクールへの出品実績の有無	有	令和●年●●コンクールへ出展。ジュエリーマスターの称号を使用。
(5)	ジュエリーマスターとしての後進育成の実績の有無	有	若手職人へ●●の技術について指導を行っている。
(6)	ジュエリーーツリズム ^{注1)} 参加実績(体験等)の有無	有	令和●年度に●●ワークショップを実施。
(7)	ジュエリーーツリズム ^{注1)} 参加実績(運営スタッフ等)の有無	有	令和●年度に●●運営スタッフとして参画。
(8)	山梨ジュエリーフェア職人ブースへの参加実績の有無	有	令和7年度に実演を実施
(9)	山梨ジュエリーフェア山梨PRブースへの出展実績の有無	有	令和7年度に作品名●●を出品
(10)	山梨ジュエリーミュージアム実演工房での実演の有無(ただし、令和6年度以降の実績に限る。)	有	令和6年度に●回実演 令和7年度に●回実演
(11)	山梨県の宝飾に関する情報発信の実績の有無 (SNS、HP等による自主的な発信実績。ただし、令和6年度以降の実績に限る。)	有	アカウント名●●で、情報発信を行っている。
(12)	山梨県の宝飾に関する情報発信の実績の有無 (プレスリリースによる自主的な発信実績。ただし、令和6年度以降の実績に限る。)	有	令和7年度に●回、●●に対してプレスリリースを実施。
(13)	山梨県の宝飾に関する情報発信の実績の有無(新聞、TV等メディア等の出演、掲載実績。ただし、令和6年度以降の実績に限る。)	有	令和7年度に●●に出演。

【記載例】別紙2-2（エントリーシート2-2）

No.	確認項目	有・無	内容
(14)	宝飾に関するコンクール等での受賞実績の有無（日本国内のもの。ただし、令和5年度以降の実績に限る。）	有	コンクール等名称：●● 受賞実績名：●●
(15)	宝飾に関するコンクール等での受賞実績の有無（日本国外のもの。）	有	コンクール等名称：●● 受賞実績名：●● 開催国：●●
(16)	山梨県庁が実施する宝飾産業の振興に関する事業への協力実績の有無（講師など技術指導分野に限る）	有	●●講師を務めた。
(17)	山梨県庁が実施する宝飾産業の振興に関する事業への協力実績の有無（技術指導分野を除く、委員等政策分野、産地または技術のPR、その他）	有	●●委員会委員を務めた。
(18)	インバウンド対応や海外展開（インバウンドへの対応や海外に向けての発信実績等）の有無	有	HPに英語・中国語で山梨県の宝飾産業について紹介を行っている
(19)	宝飾に関する情報発信を行っているSNSのフォロワー数 （所有するSNSツールの内、最も影響力のあるものを1つ記載すること。個人または法人いずれのアカウントでも可。ただし、令和6年度以降更新実績があるものに限る。）	—	ツール名：インスタグラム フォロワー数：●名 アカウント名：●●●
(20)	オープンファクトリーの企画内容	—	・添付様式第4号に記載 ・インバウンド対応や海外展開の例：多言語対応の表示版等の設置、デジタルツールを活用した多言語対応等。